

2017.03.04 (土) 慶應義塾大学日吉 藤原洋記念ホール 「日本人の心の源にある死生観」

医療を通じて生を想う

神奈川県内科医学会健康長寿社会を目指す委員会
横浜内科学会 名誉会長
中山 脩郎 (医療法人 中山医院)

100歳以上高齢者数

H23.(2011)9.15	横浜市	972人
	男性	160人
	女性	812
H28.(2016)9.15		1,444人
	男性	213人
	女性	1,231
(全国 H.28.1.1)		65,000人
	男性	900人
	女性	56,000人

横浜市 高齢単身世帯・高齢夫婦世帯の推移

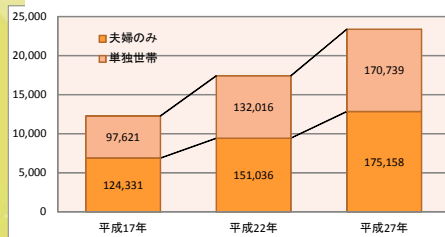


図1-2-3-21 延命治療に対する考え方



高齢化社会における健康・死生観と宗教 大正大学 村上興匡教授

第30回 日本臨床内科医学会シンポジウム
2016.10.9(東京)

- 現在の時代状況の中では、単に「長寿」であることが祝われなくなっており、国内の高齢者の増加は、むしろcare(maintenance)から医療の力点を移すほうがよいのではないかと
- (抄録 一部 引用)
- 治療から緩和ケアへ(苦悩と心の救済)へ

納棺夫日記一青木新門 (第1章 みぞれの季節)

みぞれも、その時その時の気温によって雨と雪の割合が変化するように、生死の生と死の割合もその時代背景によって左右されてきた。たとえば戦乱に明け暮れた時代とか大飢饉や疫病が蔓延した時代には、死の占める割合が多かった。そして死の占める割合が多い時代では、死は多く語られ、時には美化される傾向にあり、今日のように日常生活の中にも思想の中にも死が見当たらないような生の時代には、死は敗北であり悪であるとする傾向になる。

死を忌むべき悪としてとらえ、生に絶対の価値をおく今日の不幸は、誰もが必ず死ぬという事実の前で、絶望的な矛盾に直面することである。

2012年9月に亡くなった祖母。健先生は長期に私たちに言葉を残してくださいました。「死の方から生を見ろ」という視点から、生死に関する事柄は、今日を生きているという視点から、結果としてあらはに遠く癌患者の治療やケアを見直すべきです。「物事の判断には、多量構造があるのだから、これを少しは理解しておかないと、人の「生き死に」の問題には対処できません」「本人と家族と、それと医療者が対峙する「死」から目をそらさないで、それが大切。それが許される。やはり悲劇というものはなくなりました」「死」を共有できれば、もう怖くなくなります」「精神的ケアとスピリチュアルケアの相違点は、精神心理的分析が基礎となるのが精神的ケア、後者の基礎は「祈り」です。無論、祈り、不条理に対する祈りのないスピリチュアルケアなんてありません。宗教的ケアが必要なのです。我々のスピリチュアルケアはメンタルケアになってしまっています」とのべています。彼は生死に直面した患者の苦悩は宗教的安撫が必要であると述べていると思います。私たちが真摯に考えるべき領域に富んだ言葉だと考えます。

出典：日本死の臨床研究会ニューズレター、NO.67、2013.1.20

2. 人は生きてきたように死ぬ

人は生きてきたように死にます。しっかり生きてきた人はしっかりと死にます。不平等ばかり言って生きてきた人は、われわれに不平を言いながら死んでいきます。まさに感謝して生きてきた人は感謝して死にます。生きざまが死にざまに見事に反映されます。良き死を死すためには良き生を生きなければなりません。その人がその人らしい生を全うできるように寄り添うのがホスピス、緩和ケアの原点だと思っています。

概を覆う日、どんな顔をしているか。自分で見ることは出来ないが、一番その人らしくありたい。死への道標は自分の来た道を辿ることになる。

出典：老いの成め 下里晩子

旧約聖書 ヨブ記

- 老いたる者には知恵があり、命の長い者には悟りがある。(12:12)
- (知恵と力は神と共にあり、深慮と悟りも彼のものである。12:13)

日本聖書協会『口語訳 聖書』

1. 死を背負って生きる

私はホスピスという場で約2500名のがん患者さんを取りました。その経験から「人間は死を背負って生きている」と思います。「定年後、天福園でゆっくりと温泉へでも行きたいと思っていた矢先に夫が、がんで倒れました」と、ある中年のご婦人が言われました。私はこの現象に「大先症候群」という名前を付けました。生の延長に死があると思っていたのに、実は死を背負って生きていたことがわかる訳です。

生と死は一枚の紙のようなものだと思います。生が紙の裏だとすると、紙の裏には死が裏打ちされているのです。震災や交通事故によって、多数の人が予期しない死を迎えることもあります。「人間は死を背負って生きている」のです。

青春 サムエル・ウルマン(1840-1924)

青春とは人生のある時期ではなく、心の持ちかたを言う。奮発の面差し、紅の唇、しなやかな肢体ではなく、たくましい意思、ゆたかな想像力、炎える情熱をさす。青春とは人生の深い泉の清新さをいう。青春とは臆病さを退ける勇氣、安きにつく気持を振り捨てる冒険心を意味する。ときには、20歳の青年よりも60歳の人に青春がある。年を重ねただけで人は老いない。理想を失うとき初めて老いる。歳月は皮膚にしわを増すが、熱情を失えば心はしぼむ。苦悩・恐怖・失望により気力は地に這い精神は芥になる。

青春 サムエル・ウルマン

60歳であろうと16歳であろうと人の胸には、驚異に魅かれる心、おきな鬼のような未知への探究心、人生への興味の歓喜がある。君にも私にも見えざる駅選が心にある。人から神から美・希望・喜び・勇氣・力の靈感を受ける限り君は若い。靈感が絶え、精神が皮肉の雪におおわれ、悲嘆の水にどざざれるとき、20歳であろうと人は老いる。頭を高く上げ希望の波をとらえる限り、80歳であろうと人は青春にして己む。